



あやめ原こども園  
令和2年10月

園庭の木々が、少しずつ秋の色に変わってきました。気持ちの良い秋風が保育室の中に吹き込んできます。

運動会ではたくさんのご声援、ご協力をいただきありがとうございました。例年とは違った環境のもとでしたが、子どもたちも日頃の練習の成果を十分に発揮し、無事に終えることができました。本当にありがとうございました。

さて、これから季節の変わり目になり、体調を崩しやすくなっていきます。健康管理に十分に気をつけ、子どもたちと楽しく園生活を送れるようにしていきたいと思います。

### 保育目標

- ★休息を十分にとり、快適に過ごせるようにする。
- ★秋の自然の中で、保育者や友だちと身体を動かす遊びを楽しむ。
- ★月刊絵本や紙芝居などの絵本の世界に触れ、読み聞かせを楽しむ。

### ☆お願い・お知らせ☆

- 季節が変わり涼しくなっていますが、日中汗ばむ日もありますので、調節しやすい服装をご用意ください。
- 登園やお迎えの時間がいつもより遅くなる場合はご連絡ください。また、住所や連絡先、お仕事の変更がありましたら、必ずお知らせください。
- 検温表の記入を引き続き、よろしくお願いします。
- お子様に発熱や腹痛、嘔吐などの体調の変化がありましたら、必ず職員にお伝えください。
- 今月は絵本代2期（4ヶ月分）の納入月となっています。ご協力をよろしくお願い致します。



### ☆内科検診について☆

- 日時 10月13日（火） 12:45～
- 問診票の提出をお願いします。当日は欠席しないようにしましょう。

### ☆秋の遠足について☆

- 日時 10月14日（水）
- 準備物 お弁当・水筒・シート・ビニール袋（おやつは園で準備します。）



日	曜	行事予定
1	木	体操教室
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	クッキング（5歳児）
6	火	英語教室
7	水	
8	木	体操教室
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	英語教室・内科検診
14	水	秋の遠足
15	木	体操教室
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	英語教室
21	水	誕生会
22	木	体操教室
23	金	ピカピカデー
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	英語教室（ハロウィン） 4・5歳児
28	水	
29	木	体操教室
30	金	お便り配布
31	土	

## 子どもの目線で考える、子育ての悩み解決法

今回は、子育て世代の悩みを通じて、子どもの目線で考える解決法をご紹介します。幸せな子育てにつながるヒントとして、ぜひ参考にしてみてください。

### ☆0～1歳頃

まわりにあるものをまるごと取り込んで人格を形成していく時期。子どもの発達段階に応じて、必要なものが十分に整えられている環境を準備することが大切です。

#### ○無心に繰り返すことで、集中力が養える

小さい子どもはいつまでもドアを開けたり閉めたりするなど、同じことを繰り返します。無意味に見える行動も、子どもにとっては内面を発達させるための重要な仕事です。子どもが自分で選んだことを無心に繰り返させて、初めて集中力を養えます。大事なのは、**途中でやめさせないこと**。ドアの開け閉めを始めたら「やってる、やってる」と優しく見守りましょう。満足して、自分からパタッとやめる時が必ずきます。

### ☆2歳頃

自分でできたことに喜びを感じる時期です。やり方をどんなふうにするか伝えることが大切です。

#### ○「ひとりでできた！」という自信が意欲につながる

成長するにつれて「ひとりでする」という言葉が聞かれるようになります。しかし上手くできず、大人が手出しをすると嫌がる・・・このときに良いのは、**子どもが「ひとりでする」のを手伝ってあげる**ことです。たとえば、牛乳を注ぎたいなら、重い牛乳パックの代わりに子どもの手に合うピッチャーを用意するなど、環境を工夫しましょう。**ひとりでできたという自信が「自己肯定感」を抱かせ、「もっとやりたい」という意欲につながっていくのです。**

### ☆3～4歳頃

生活の中でのちょっとした工夫で、子どもと一緒に時間が楽しくなります。そのとき、大切なのは「子どもをまるごと認める」ことです。

### ☆5歳頃

こまった行動には、わけがあります。どんな子どもにも隠れている「新しい子ども」を見つけてあげましょう。子どもの中には、大人が想像できないほどすばらしい力が隠れています。

#### ○子どもをまるごと認めてあげる

小さい頃は1番が取れていた子どもも、成長するにつれて1番でいるのが難しくなってきます。そのうち1番ではない自分に納得できず、怒り出すことがあるでしょう。「1番でなくても、あなたはとてもすばらしい」と認められるのは親だからこそ。存在を肯定された子どもは、「自分が大切な存在であるように、相手も大切な存在である」ことに気づけるようになります。

★もし1番にこだわるときは、**順番を競わない家事などの手作業を手伝ってもらいましょう。**そして、最後まで頑張ってきたこと、片付けをきちんとしたことなど、**結果よりもその過程を認めてあげるようにします。**